

(3) 授業実践

① 単元名 「江戸からのメッセージ」—今に生かしたい江戸の知恵—

② 指導計画（7時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
1	1	1 教材文にかかわった内容について自分の考えをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文章の組み立てに注意して読み、学習の見通しをもとう。</div> 2 形式段落を意識しながら教材文を通読する。 3 今後の学習展開を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えである「心の豊かさ」について、学習前に自分の考えをもち、生徒の関心を高める。 全体が十六の形式段落からなることを押さえ、問題提起の段落と筆者の考えが述べられている段落を確認しながら、通読することができるようにする。 今後の学習の展開を確認し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。 	関 「心の豊かさ」について自分の知識や経験をもとに、自分の考えを書いている。（作文シート）
2	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問題提起、筆者の考え、根拠をワークシートにまとめよう。</div> 1 問題提起、筆者の考え、根拠を区別し各段落の内容を読み取る。 2 問題提起、筆者の考えをワークシートに記入する。 3 根拠をラベルに記入し、ワークシートに並べて貼る。	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を確認し、各段落の関係に注意し、問題提起、筆者の考え、根拠をそれぞれ区別できるようにする。 問題提起と筆者の考えの間に根拠が並んでいるという、尾括型の本文の構成を理解させる。 根拠を記入したラベルを動かしながら考えるという次時の学習の見通しをもたせる。 	読 教材文の構成を確認するために問題提起、筆者の考え、根拠をしっかりと区別してワークシートに記入している。（ワークシート）
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">読み取った根拠が適切かどうか判断してみよう。</div> 1 筆者の考えに対する、根拠の適否を判断して、ラベルを動かす。 3 2 完成した個人のワークシートを参考にして、さらに検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 適否についての理由が全くの主観にならないように例をあげながら説明する。 根拠を位置づけた理由を必ずピンクのラベルに記入し、自分の考えをもつことができるようにする。 自由に友達ワークシートを見ながら友達の考えで良いと思うものは積極的に取り入れ、さらに、ラベルの位置や内容を検討するよう指示する。 	読 開 適否の理由を客観的に考え、ラベルを動かし自分の考えをまとめ、友達の考えを積極的に取り入れようとしている。（ワークシート） 言 行動観察 言 段落相互の関係を適否の判断に活用している。（ワークシート）
3	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループで各自のワークシートを検討しグループ案をつくらう。</div> 1 グループ内で互いのワークシートを検討し相互評価する。 2 互いのワークシートからグループ案を検討し、発表の準備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で相互評価を行い、その評価をもとにグループ独自の案を発表用ワークシートにまとめることができるようにする。 グループ案をまとめるために、司会や記録などの役割分担をしっかりと行い、検討が速やかに行われるようにする。 発表者や発表の方法を事前に決めておき、短冊の動かし方などを確認しておくことを助言する。 	読 グループ内での相互評価をもとにグループ独自の発表用ワークシートをまとめ、発表の準備をしている。（発表用ワークシート） 表 相互評価表
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">各グループで検討された案を聞き、自分の考えと比べよう。</div> 1 発表会を開き、グループ案を相互評価する。 2 学習を終えての自分の考えと学習前の自分の考えを比べる。	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの発表を聞き、評価しながら聞くことができるようにする。 発表者には、自分達のグループが検討の過程で一番問題になった点について説明するよう指導する。 「心の豊かさ」について改めて自分の考えをまとめ、もの見方や考え方の広がりを見ることができるようにする。 	関 筆者の考えを自分の考えと結び付けて理解し、広がりを見ている。（作文シート） 読 発表と自分の考えを比べ筆者の根拠に共感したり、批判したりしている。（相互評価表）

③ 目標

- 自分の知識や経験と結び付けて文章を読み、ものの見方や考え方を広げようとする。
(関心・意欲・態度)
- 文章の展開を確かめ、筆者の考えや根拠を建設的に批判してものの見方や考え方を広げることができる。
(読むこと)
- 段落相互の関係を正しく押さえ、根拠の適否を考える際に活用することができる。
(言語についての知識・理解・技能)

④ 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を正確にとらえて、説明文を読み取る。 ・筆者の考えや根拠を、そのまますべての知識や経験と結び付けて、文章を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめ筆者の考えと比べながら読んでいる。 ・文章の中心の部分と付加的な部分を読み分け、段落相互の関係を正しく押さえ、読んで読んでいる。 ・筆者の考えや根拠に共感したり批判したり自分の考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係を正しく押さえ、根拠の適否を考える際に活用している。

⑤ 本時の学習

ア 目標

グループで各自のワークシートを検討し、グループ案を作ることができる。

イ 展開

学習内容	指導上の留意点(・)と評価(◎)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>グループで各自のワークシートを検討し、グループ案をつくらう。</p> <p>2 前時までに作った自分の案をもとにグループ案を作る。</p> <p>(1) 各自のワークシートを評価する。</p> <p>(2) 各自のワークシートをもとに話し合い、グループ案をまとめる。</p> <p>3 できあがったグループ案をもとにどのような発表を行うか話し合う。</p> <p>(1) 発表時の役割を話し合って決める。</p> <p>(2) 発表のポイントを確認する。</p> <p>4 本時のまとめと次時の学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は、前時のグループでの検討をもとに各グループでの検討を行いグループ案をまとめる時間であることを告げる。 ・お互いのワークシートをもとに話し合い、グループとしての案を作り、発表するという見通しをもつことができる。 ・グループ案をまとめながら、自分のワークシートの検討も行うことを助言する。 ・相互評価用のワークシートを使い、書いていることについて認め合うことができる。 ・グループ案用のワークシートを配る。 ・司会と記録を決め、話し合いが円滑に行われるように助言する。 ・話し合った際に、特に、問題になった点を記録して発表できるようにする。 ・理由付けは以下の点に留意して行うようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○もし自分が「心の豊かさ」を筆者の立場で述べるとしたらということを考える。 ○読者が納得したり信頼したりできるかについて考える。 ○もっと分かりやすい根拠はないかを考える。 ○今までの体験などから考える。 ・発表を行う者、掲示用資料を動かす者をそれぞれ決めるよう助言する。 ・発表時間は5分程度であることを告げる。 ・以下のポイントに注意して発表するよう助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ○グループの中で一番問題になった部分はどこか。 ○問題になった部分に対するそれぞれの立場はどうであったか。(筆者と同じ、一部筆者と同じ、全く筆者と異なる) ○グループとしてその案に決定した理由は何か。 ◎読 グループ内での相互評価をもとにグループ独自の発表案をまとめ、発表の準備をしている。 (ワークシート、相互評価表) ・おおむね満足できる状況にない生徒には、自分の考えをしっかりと伝えることを助言する。 ・十分満足できる生徒には、どのように発表したら分かりやすく伝わるのか考えるよう助言する。 ・グループでまとめた案について、全体での発表を行うことを伝え、意欲付けを図る。